

平成 27 年産 紀南の梅産地情報

2015/06/08

1. 5月20日の定点調査では、南高の着果数は前年よりやや少なく、平年並みであった。在来系の着果数は前年・平年に比べ少なかった。

定点調査の着果数（枝径2^号の枝当たり）と結実率

品 種	平年（10年間）		平成26年		平成27年			
	着果率	着果数	着果率	着果数	着果率	着果数	前年比	平年比
南 高	9.7%	34 果	10.8%	36 果	8.7%	31 果	87%	93%
在来系	11.0%	34 果	15.4%	29 果	8.1%	19 果	67%	56%

2. 6月6日時点の南高の実肥りは、37.1mmと平年に比べ2日程度すすんでいる。
3. 南高梅は5月29日販売から始まっているが、結実後の気温が高く推移しているため生育が進み、日々の入荷量は多くなっており、ピークは6月7～12日頃を見込んでいる。
4. 6月8日梅部会まとめの生産予想量は、小梅838ト（昨年比117%、平年比94%）、古城627ト（昨年比91%、平年比72%）、南高22,272ト（昨年比82%、平年比94%）、在来系374ト（昨年比63%、平年比58%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。
5. JA 紀南では出荷販売する梅の安全対策として、全ての出荷物の生産履歴記帳と安全点検、生産者毎の出荷物サンプル保管、農薬残留分析（JA 紀南食品安全分析センター）の自主検査による安全確認を実施している。また、食品安全衛生管理のGAPも導入している。
6. 結実後の気温は、4月に引き続き前年・平年を上回っている。降水量は前年・平年より少なくなっている。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	25年	26年	27年	平年	25年	26年	27年
5月上旬	18.5	15.9	17.7	19.1	63.5	25.5	19.5	10.0
5月中旬	19.1	19.5	19.1	20.6	67.2	97.0	139.0	68.5
5月下旬	20.4	21.8	20.5	21.3	49.3	11.5	84.5	7.5

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）